

ひびき動物病院のかわらばん 1月

〒235-0045
横浜市磯子区
洋光台6-2-17-102
☎045-832-0390
定休日 木曜日全日
日祝の午後

ひびき動物病院ご来院のみなさまへ、
ちょっとしたお知らせを発信します



あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。
この年末年始もペットホテルのご利用が多数ありました。そんな中、病気で来院してきた子にノミ発見！！、こんな時期でも油断できないものですね。お泊りの子には予防薬を必ずつけてもらっていますが、やはり手を抜けないですね。ご協力よろしくお願い致します。
ペットホテルは、通常の場合、やっぱりペットにはストレスがかかるものだと思います。なるべくストレスにならないようにと思い接していますが、それでも心を開いてくれるのは、なかなか時間が必要で、おうちに帰る直前にやっと、または、全然緊張しっぱなしの子も珍しくありません。持病もちの子の場合は、お泊りのストレスで持病が悪くなる子もいます。たとえば、心臓病の場合は、何かあれば心臓発作に繋がってしまい、ペットホテルにきて発病、なんていうこともあり得なくはない訳です。死んでしまうかもしれません。現状としましては、ペットを一番で考えると、このように危険のある場合のペットホテルは、なるべく引き受けないようにしています。しかしながら、動物病院以外では不可能な業務でもあるのも理解しています。お預かりするケースもゼロではありませんが、もしも治療が必要になってしまう場合は、別途費用も必要になってきますので、そういう点も考慮していただかないといけません。
それではこういう場合は他に手が無いのでしょうか？
ペットのワンコやニャンコは、やっぱり自分のお家が一番安心できる場所です。お留守番もしたことは少なからずあるでしょう。重度の持病があるペットのためには、ペットホテルよりは、お家で誰かに面倒を見てもらう方が理想だと思います。
ペットシッターも含めて、協力していただけたらなにかがいらっしやれば、ということにはなってしまいますが。。
ペットホテルの時期に色々な子と接することができるのは面白いのですが、悩ましい部分です。

獣医師会での活動を少しご紹介します。普段はあまり話題にすることもないため知られていないことだと思いますが、磯子区獣医師会では、区内の小学校の学校動物の飼育指導と、移動動物園のふれあい授業を毎年実施しています。これに参加する獣医の先生は、磯子区獣医師会に所属する有志です。横浜の小学校で育った自分としては、動物小屋などは存在するのが当たり前でしたが、前職場の東京都市部では、動物小屋がある方が少ない状況で、半分以上の生徒は動物に触ったことがなく驚き、このような機会も子供たちには大変貴重な場だと思っています。ふれあい授業は区内で毎年1校程度実施されています。今年も洋光台の小学校でした。参加動物は、ウサギ、ヒヨコ、モルモット、アヒル、リクガメ、ミニブタ、ヤギ、ヒツジ、ポニーでした。動物園でもなかなか触れない動物もいますね。子供たちはやはりいい顔していました。



臨時休診
1/31(土)-2/1(日)

短縮
1/9 17:00まで
1/23 18:30まで
1/28 15:00まで

今月は
お休み
あります